



国際数理科学協会会報

No.48/2006. 11

編集委員長 藤井正俊

目次

- | | |
|----------------------|--------------|
| * 2007年総会および年会予告 | * 原稿募集の御願い |
| * Bylaws2007の改定のお知らせ | * 機関会員の利点 |
| * 年会予定 | * 日本学術会議議長より |
| * 研究集会報告 | * 交換誌のお知らせ |
| * 研究集会 | * お知らせおよび依頼 |
| * 会費納入の御願い | * 機関会員募集 |
| | * 会員募集 |

* 2007年総会および年会予告

総会を次の予定で行います。

平成19年8月7日(火)10:30~12:00で行います。引き続いて来年の国際数理科学協会の年会を下記の日程場所で行う予定です。

平成19年8月7日(火)午後~8日(水)分科会の都合により9日(木)まで開催可能)
場所：大阪教育大 天王寺キャンパス (JR環状線天王寺下車又は寺田町下車すぐ)

出来るだけ多くの研究部会開催を御願ひします。研究部会を開催されます方は(イ)責任者(世話人)(ロ)研究部会名(ハ)開催予定日時(ニ)参加予定人数(ホ)研究集会をclosedにするかどうか(ヘ)連絡先およびe-mailを記入して下記にお知らせ下さい。

第一次 会員の研究部会開催申込締め切りは2月末日。

連絡先 〒582-8582
柏原市旭ヶ丘 4-698-1
大阪教育大学教育学部数学教室
藤井 正俊 (mfujii@cc.osaka-kyoiku.ac.jp) 宛

参加希望の分科会またはグループ名などの詳細を3月の会報にお知らせする予定です。それ以降の目安を書いておきます。詳細は申し込まれた責任者からあるかもしれません。

第二次(題目の責任者(世話人)への申込締め切り) 6月10日
プログラムが決まりましたら、会報7月号に掲載の予定です。

* Bylaws2007の改定のお知らせ

2006年9月号の”会報“3ページでお知らせしましたように、Baylaws2007 原案の可否投票を10月20日締め切りで行うとしましたが、印刷などの都合により”会報”の配布が遅れました。そこで、投票締め切りを2ヶ月遅らせ12月20日といたします。その可否の結果は2007年会報1月号に掲載し、officerの増員が認められましたら、候補者の推薦を2007年2月20日締め切りでお願いします。2007年会報3月号に候補者を掲載し、投票を開始し、2007年会報5月号にその結果を掲載します。

国際数理科学協会 会長 井関清志

* 年会予定

2008年以降の年会は次のようになっています。関心のある方は予定しておいて下さい。

2008年	開催校	大阪府大	工学部	年会運営委員	栗木進二
2009年	”	神戸大	発達科学部	”	高橋 正
2010年	”	大阪大	工学部	”	八木厚志

* 研究集会報告

ISMS 関係 代表者 古澤仁、高井利憲

Research Group on Algebra, Logic and Geometry in Informatics (ALGI) has been held a series of seminars on applications of algebra, logic and geometry to informatics, and applications of informatics to these areas of mathematics. For more details of ALGI, please visit

http://sakura.math.kyushu-u.ac.jp/algi/index_e.html.

This year ALGI took place at Nara Woman's University, Nara, Japan, from October 12 to October 13. We had 10 talks and 23 attendances. A record of program is in http://sakura.math.kyushu-u.ac.jp/algi/17/index_e.html.

Since trains arriving Nara ran behind schedule by dense fog in the morning of the second day, we had to delay the beginning of the first talk 30 minutes and shorten lunch time.

* 研究集会 (QTNA2007)

ISMS 協賛

**The Second Asia-Pacific Symposium on
Queueing Theory and Network Applications (QTNA2007)**

August 1-August 4, 2007

International Conference Center, Kobe, Japan

Organizing Committee

Wuyi Yue (Konan Univ., Japan, Chair)

Hsing Paul Luh (National Chengchi Univ., Taiwan, Co-chair)
Bong Dae Choi (Korea Univ., Korea)
Hideaki Takagi (Tsukuba Univ., Japan)
Yutaka Takahashi (Kyoto Univ., Japan)
David D. Yao (The Chinese Univ. of Hong Kong, Hong Kong)
Dequan Yue (Yanshan Univ., China)

詳細は Notices 11月号を見てください。

The 7th International Conference on Optimization (ICOTA 7)

Techniques and applications

December 12-December 15, 2007, International Conference Center, Kobe, Japan

The International Conference on Optimization : Techniques and Applications (ICOTA7) is an official conference series of POP (The Pacific Optimization Research Activity Group). The goal of ICOTA is to provide an international forum for scientists, researchers, software developers, and practitioners to exchange ideas and approaches, to present research findings and state-of-the-art solutions, to share experiences on potentials and limits, and to open new avenues of research and developments, on all issues and topics related to optimization and its applications.

Correspondence and Inquiries

Please forward your name and email address to:

Office: Institute of Intelligent Information and Communications Technology (IICT), Konan University

E-mail: ICOTA7@iict.konan-u.ac.jp

ICOTA webpage is: <http://www.iict.konan-u.ac.jp/ICOTA7/>

Communicates by Wuyi Yue

詳しくは同封の Notices 11月号および webpage を見て下さい。

* 年会費納入のお願い

国際数理科学協会会員各位

2006年11月17日

いつも国際数理科学協会へのご協力を頂きありがとうございます。

さて、2007年度の会費ご請求の時期になりました。

つきましては、下記の会費表をご参考の上、同封の郵便局払い込み票にて会費の納入をお願い致します。

単年度 A 会員	¥ 7,000
3年 A 会員	¥18,000
単年度 S 会員	¥3,500
3年 S 会員	¥9,000

* S 会員とは、学生会員と高齢会員（70歳以上）を指します。

なお、2007年度も3年会員のお申し込み受け付けております。また、ご購入頂いている場合は、本代として単年度会員の方は年間6,000円、3年度会員で3年分

前納して頂く場合は15,000円とさせて頂いております。4年会員で本代のみご請求させて頂く先生方は5,500円となっておりますのでよろしくお願い致します。何かご不明な点などありましたら、下記メールアドレスまでお問い合わせ下さい。

国際数理科学協会
会計：辻本
E-mail:trsr@jams.or.jp

* 原稿募集の御願い

昨年会報でお願いしましたように、会報に載せて頂く原稿を募集したいと思います。内容は昨年もお願ひしましたように、研究のこと、研究集会のこと、学科の紹介、書評など何でも結構です。お互いの交流が密になり、さらに研究が発展することが出来るとういと思っております。

長さは原稿用紙(400字詰め)4-12枚見当でお願いしたいと思います。期限は2-3ヶ月から半年を目安でお願いしたいと思います。また、原稿はwordで作成していただくと、助かります。ご希望の方また、[原稿は pqp@jams.jp](mailto:pqp@jams.jp)にお知らせくださるようお願いいたします。

* 機関会員の利点

個人会員の特典

- (1) onlineでSCMJを見ることができます。
- (2) 論文の掲載時にpage chargeが随分と安くなる。
- (3) Netを用いて国際研究集会を催す時、アナウンス、アブストラクトの作成などお助けいたします。
- (4) 6,000円を支払うと、hard-copyのSCMJが一年を通じて手に入ります。
- (5) 10年間個人会員を続けると、国内会員は70,000円、外国会員はUS\$600、途上会員はUS\$500を支払うと生涯会員となります。

機関会員の特典

- (1) 本屋よりSCMJを購入すると、print版45,000円であるが、機関会員になると、同額33,000円でonline版を見ることができます。
- (2) 会員でない2名の方を準会員として登録することができます。すると、page chargeが会員と同じ扱いになります。
- (3) 上の準会員2名は機関会員に割り当てられるonlineを通じてSCMJを見る事ができる。
- (4) Netを用いて国際研究集会を催す時、アナウンス、アブストラクトの作成などお助けいたします。

* 日本学術会議議長より

日本学術会議議長金沢一郎氏より以下の手紙と資料とが送られて来ました。

「科学者の行動規範について」送付について

日本学術会議は、平成 18 年 10 月 3 日開催の第 149 回総会において、声明「科学者の行動規範について」を採択しましたので、お送りいたします。本声明の取りまとめに当たっては、幅広い意見を取り込むため、大学・研究機関や学協会等を対象にアンケート調査を本年 5 月に実施したところ、貴機関の御協力を厚く御礼申し上げます。アンケートの結果概要は、声明の参考 5 及び参考 7 に記載しています。

我々科学者は、科学と科学研究は、社会のために、そして社会とともにあることを強く認識しなければなりません。国内外で起こった科学者の不正行為は、科学そのものの発展を妨げるだけでなく、科学や科学者コミュニティの社会からの信頼を大きく損なうことになりかねず、その防止は私たち科学者が自らの問題として取り組まなければならない重要な課題です。

貴機関におかれましては、本声明を参照して、不正行為の防止を自らの課題ととらえ、それぞれの機関・分野に応じた行動規範と倫理プログラムを策定・実施し、社会の信頼を得て、主体的かつ自律的な科学研究を進めていただきたくお願いいたします。

日本学術会議は、科学者コミュニティにおける議論を喚起し、また、社会との対話を積極的に行い、科学と社会との健全な関係を築くよう引き続き努力する方針です。

なお、本声明の電子媒体を日本学術会議ホームページで提供しています。

<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-20-s3.pdf>

	総数	1. データ のねつ造	2. データ の改ざん ・偽造	3. 研究の 盗用、論 文の剽窃	4. プライ バシーの 侵害	5. 研究資 金の不正 使用	6. 論文の 多重投稿	7. その他
発生件数	236	13	8	48	7	44	79	37
割合 (%)	100.0%	5.5%	3.4%	20.3%	3.0%	18.6%	33.5%	15.7%
認定件数	150	3	5	31	4	33	52	22
割合 (%)	100.0%	2.0%	3.3%	20.7%	2.7%	22.0%	34.7%	14.7%
認定割合 (%)	63.6	23.1	62.5	64.6	57.1	75	65.8	59.5

当協会に関係深いものは第 6 項ですが、従来通り投稿者に厳密に履行を求めます。

*** 交換誌のお知らせ**

会員の属する大学等で、最近数学関係の雑誌は大学の法人化などで手に入れるのが経済的に困難なところもあるのではないのでしょうか。ここ協会は諸外国より、有名な雑誌が送られてきています。例えば、次の様な雑誌です。

- (1) Annales de l'Institut Fourier
- (2) Annales of Mathematics

- (3) Bulletin of the Australian Mathematical Society
- (4) Canadian Journal of Mathematics
- (5) Communications on Pure and Applied Mathematics
- (6) Journal of the London Mathematical Society
- (7) Mathematical Proceedings of the Cambridge Philosophical Society
- (8) Memoires of the American Mathematical Society
- (9) Quarterly of Applied Mathematics
- (10) Rendiconti del Circolo Matematico di Palermo

その他あります。もし、先生の教室でこれらの一部の雑誌を手に入れる事が出来るなら、手に入れたいと言うところが有りましたら、協会に御連絡下さればお話が可能です。メール等(scm4j@jams.jp)を頂けます様お願い致します。

*** お知らせおよび依頼**

- (1)大学の教員の採用は、最近では公募が主流となってきているようです。この会報は 2 ヶ月に一度出しておりますので、会員所属の大学等で公募する際は、協会の方に原稿をメール等(scm4j@jams.jp)でお送り願えたら、一番近い号に載せて、会員の方々にお知らせし協力したいと思います。
- (2)個人会員、機関会員を募集しています。メリットは、SCMJ を見るばかりでなく、論文掲載の際の page charge が随分と安くなります。一般的に研究費の減少のあり、是非御活用願いたいと思います。また、投稿してから掲載するまで時間が他の雑誌に比べてあまりかかりません。どうぞ近くの方に、個人会員又は先生所属の大学等又は教室が機関会員になりましようお勧め下さい。
- (3)シンポジウム、研究集会等予定が決まりましたらお知らせ下さい。会報を用いて案内等したいと思います。協会の方にご連絡下さい。
- (4)外国との遠隔集会開催などについては、阪大中之島センターの TV 会議システムが便利です。協会に連絡を頂ければ利用料金を負担致します。従来に比べて使い勝手も良くなり新しいサービスの導入も予定されているようです。(<http://www.onc.osaka-u.ac.jp> をご参照下さい)。一方大がかりな遠隔会議システムが必要でないという点では、SOBA を用いた国内での遠隔会議も考えられます。使用説明は会報 No.46 にあります。国内での利用は無料です。遠隔会議、集会のためには、使い慣れておくということも大事です。SOBA の使用実験のアナウンスなども致しますので、お気軽にご参加下さい。
- (5)会報、Notices が今まで以上に充実します。今年から会報、Notices をともに年6回発行しています。特に Notices では、著名な外国人による種々の数学に関する寄稿があります。ご一読下さい。近くの方への会員勧誘にも利用して下さい。
- (6)独立行政法人大学評価・学位授与機構長より、「機関別認証評価に係る専門委員候補者の推薦について(依頼)」の知らせが届いています。実際に大学等の評価を担当して頂く標記専門委員の候補者の推薦依頼が来ています。どなたかを御推薦する方がおられましたら、平成 18 年 12 月 15 日(金)までに協会にお知らせ下さい。

***Application for Institutional Member of ISMS**

大学、研究所等が協会から SCMJ 誌の直接購買をする機関会員制度について、2006 年より、各機関会員

に所属の研究者2名を会費無料で準会員として登録すると、準会員がSCMJに acceptされた論文を掲載するときの page charge(別刷代金)は会員と同額とすることにしました。

機関会員が online SCMJ の購買をしない場合は、準会員はSCMJを閲覧する password は貰えず(著者であれば著者として自分の論文の閲覧はできますが)会員並の閲覧は出来ませんが、page charge(別刷代金)は会員と同額です。

この新しい制度の機関会員の P.R.を、日本国内外(BRICS 諸国など)400 大学に向けて、2006 年 1 月から始めています。同時に今迄の SCMJ 投稿者で会員でない方、また、個人会員および(機関会員の)準会員加入の P.R.も始めています。

両者の P.R.について会員の御支援(P.R 先大学の教員の方の名前ご連絡頂く)を御願いの次第です。

なお大学系の機関会員入会の Form は次のものです。

Subscription of SCMJ Check one of the two.	<input type="checkbox"/> Print (US\$300)	<input type="checkbox"/> Print + Online (US\$420)
University (Institution)		
Department		
Postal Address where SCMJ should be sent.		
E-mail address		
Person in charge	Name: Signature:	
Payment Check one of the two.	<input type="checkbox"/> Bank transfer	<input type="checkbox"/> Credit Card (Visa, Master)
Name of Associate Members	1.	
	2.	

ISMS (JAMS の継続) 会員募集

ISMS の出版物: ISMS は、創刊より約 60 年、国際的に高い評価を得ている Mathematica Japonica (M.J.) と、その姉妹誌で電子 Journal と Paper 誌とを持つ、Scientiae Mathematicae (SCM) とを発行してきました。両誌は合併して、“21 世紀 MJ/SCM New Series, Scientiae Mathematicae Japonicae (SCMJ)”として、電子版は 2000 年 9 月より発行してきました。印刷版は、1978 年 1 月より、年間 6 冊、700~1200 頁を出版しています。全体として 230 巻を超える、日本で最大量を誇る数理科学の雑誌です。その特長は、下の 1)~7) です。

- 1) Editorial Board には、国内だけでなく、海外 15 カ国の著名な研究者 40 名が参加している。
- 2) 世界の research group に論文が紹介され、積極的な交流が推進されている。
- 3) Editor を窓口として直接論文を投稿できて、迅速な referee 及び出版が得られる。
- 4) 有名な数理科学者の original paper や、研究に役立つ survey が、毎号載せられている。
- 5) SCMJ は、世界の有名数理科学者による、極めて興味ある expository paper を、毎号 International Plaza 欄に掲載している。世界各国の図書館へ、広く配布されている。
- 6) 投稿論文は、accept 後 (又は組版後) 待ち時間 0 で発行されます。
- 7) Mathematical Review, Zentralblatt に from cover to cover で review されている。

ISMS の研究集会: (1)研究仲間がゆっくり時間をかけて発表、討論をする、特色ある参集型研究会が毎年行われ、非会員も含む多数の参加者の、活発な研究交流の場となっている。(2)ISMS には内外の著名な研究者が多数入っており、近いうちに内外を結ぶ高い level の研究会が online で行われる事を期待している。(本誌 45 号 3p 及び Notices March 2006 9p を御参照下さい)

ISMS の学術賞: 会員の優れた論文を広く世界に紹介し、更なる研究を奨励するために、ISMS 賞および JAMS 賞を設ける。(詳しくは本誌 45 号 2p 会則 13 条を御参照下さい)

< ISMS の会員の特典 > 1. SCMJ 電子版の購読 (print out も含む) 無料。2. SCMJ print 版の少額での購読 (下表 1)。3. Page charge の discount (下表 2)。

< 機関購読会員の特典 > 1. 機関内の 2 名の方を準会員として会費無料で登録することが出来る。2. 準会員は会員と同じ page charge の discount を受けることが出来る。

表 1 [雑誌購読費]

	正会員 (1 年)	正会員 (3 年)	機関購読会員	定価
Print	¥ 6,000 US\$ 60, €48	¥ 5,500* US\$ 55, €44	¥ 33,000 US\$ 300, €240	¥ 45,000 US\$ 400, €320
Online	Free	Free		
On-line+print	¥ 6,000 US\$ 60, €48	¥ 5,500 US\$ 55, €44	¥ 45,000 US\$ 420, €336	¥ 57,000 US\$ 520, €416

*3 年会員のみ、雑誌購読費 3 年前分払いの場合は ¥15,000 になります。

著者の方には、SCMJ を 1 冊送料込みで 1,200 円または US\$ 12 で購入できます。

表 2 [ページチャージ]

	Member/Associate Member	Non Member
Paper : P	¥3,850 (US\$ 35, €28)	¥ 4,450 (US\$ 43, €35)
Tex : T	¥ 2,200 (US\$ 18, €14)	¥ 2,800 (US\$ 26, €21)
Js : Js	¥ 1,100 (US\$ 8, €7)	¥ 1,700 (US\$ 16, €13)

表 3 [今年の会費]

Categories	国内会員	海外会員	途上国会員
単年度 A 会員	¥7,000	US\$ 50, €40	US\$ 30, €24
3 年 A 会員	¥18,000	US\$ 120, €96	US\$ 70, €56
単年度 S 会員	¥3,500	US\$ 30, €24	US\$ 20, €16
3 年 S 会員	¥9,000	US\$ 70, €56	US\$ 50, €40
生涯会員**	¥70,000	US\$ 600, €480	US\$ 500, €400

**過去 10 年以上、正会員であった方に限る

但し、A 会員は正会員を指し、S 会員は、学生会員と高齢会員(70 歳以上)を指します。

国際数理科学協会

International Society for Mathematical Sciences

〒590-0075 堺市堺区南花田口町 2-1-18 新堺東ビル内

Tel: (072)222-1850 / Fax: (072)222-7987 URL: <http://www.jams.or.jp>